

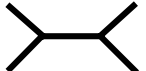
## 1.1.4 IT推進委員会SWOT分析図

◆IT推進委員会：川口市の各課の課長等により構成

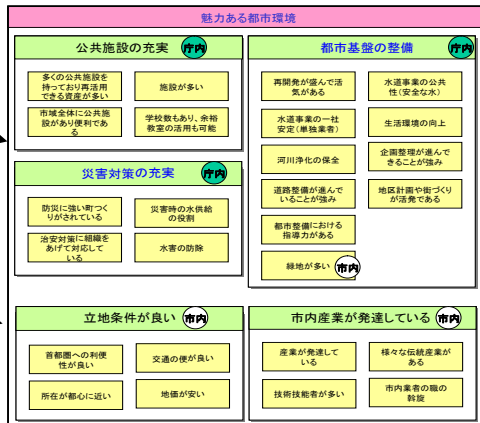
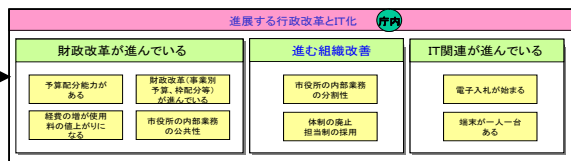
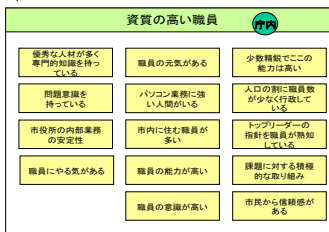
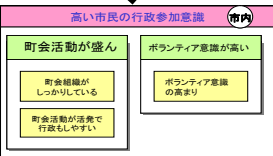
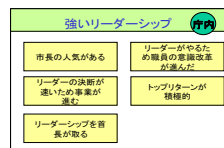
◆本資料は、平成17年9月28日のIT推進委員会で行われたSWOT分析結果を整理したものです。

### 凡 例

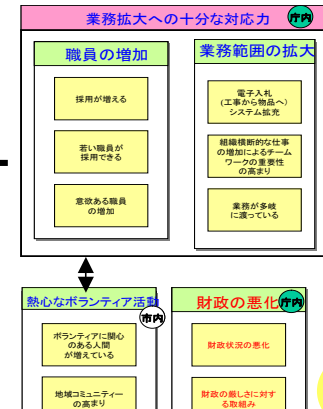
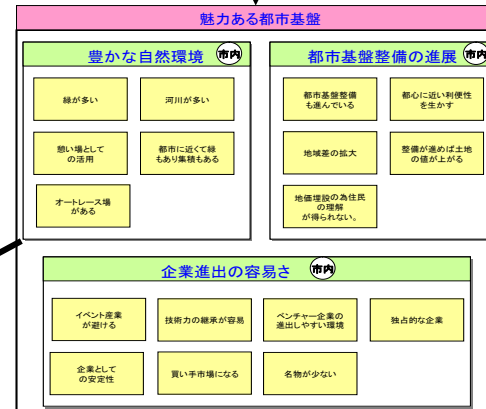
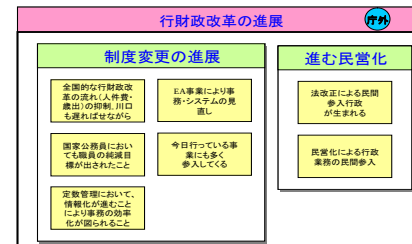
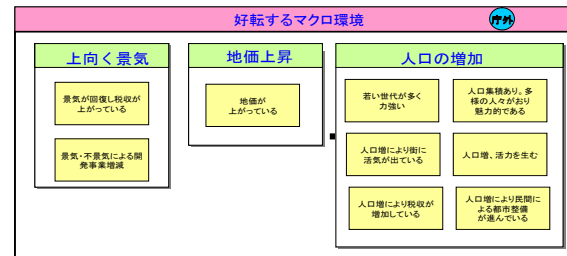
| 記 号                                                                                 | 説 明                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
|  | 市内に関する内容                       |
|  | 市外に関する内容                       |
|  | 市外に関する内容                       |
|  | 市外に関する内容                       |
| 青字                                                                                  | EA策定チームで修正・追記したもの              |
| 赤字                                                                                  | 内容が不明確であり、書いた本人に意図・意味の確認が必要なもの |

| 記 号                                                                                   | 説 明              |
|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
|  | 主従関係             |
|  | 相互関係             |
|  | 矛盾関係             |
|  | 接続記号<br>(1からの連番) |

## 強いリーダーを支える優秀な職員



## 魅力ある都市基盤を持つ川口市

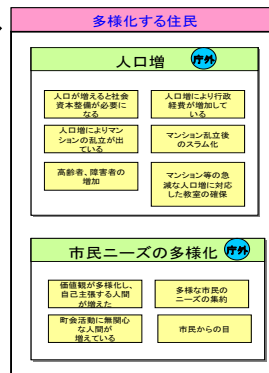
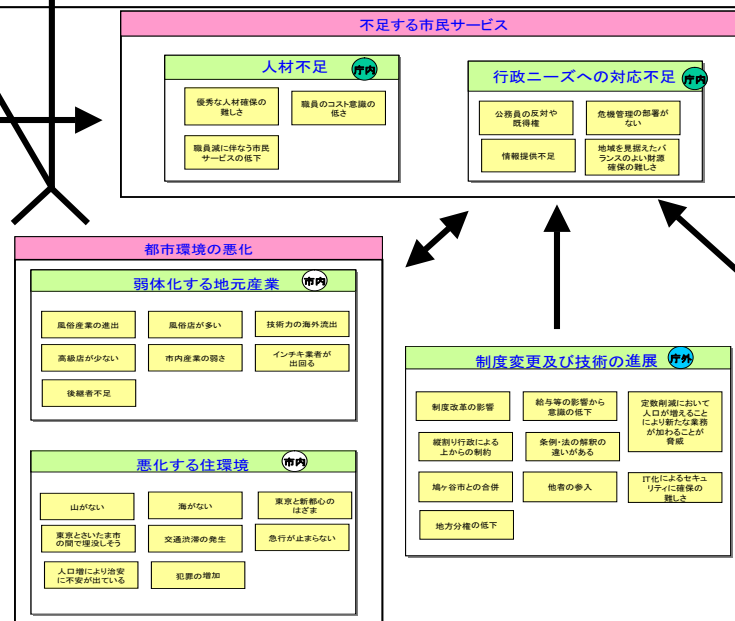
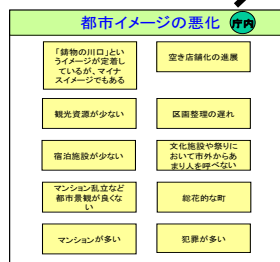
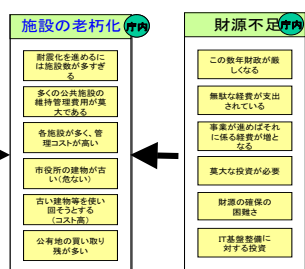
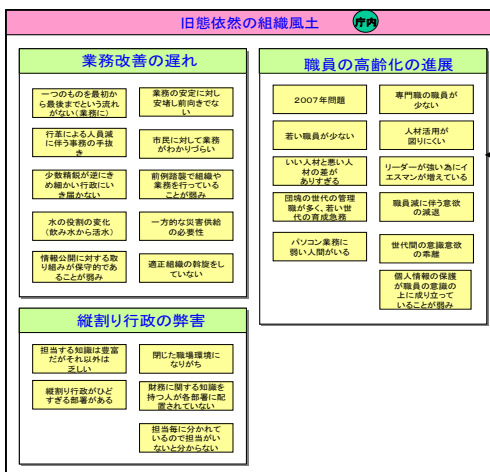


S

W

O

T



残存する縦割り行政と施設の老朽化

多様化する住民への対応不足

【次ページ以降にS、W、O、Tごとに大きく記述したページを掲載しますので参照ください】

内部管理班：S（強み）

強いリーダーを支える優秀な職員

強いリーダーシップ

庁内

市長の人氣がある

リーダーがやるため職員の意識改革が進んだ

リーダーの決断が速いため事業が進む

トップリターンが積極的

リーダーシップを首長が取る

進展する行政改革とIT化

庁内

財政改革が進んでいる

予算配分能力がある

経費の増が使用料の値上がりになる

財政改革（事業別予算、枠配分等）が進んでいる

市役所の内部業務の公共性

進む組織改善

市役所の内部業務の分割性

体制の廃止担当制の採用

IT関連が進んでいる

電子入札が始まる

端末が一人一台ある

高い市民の行政参加意識

市内

町会活動が盛ん

町会組織がしっかりしている

町会活動が活発で行政もしやすい

ボランティア意識が高い

ボランティア意識の高まり

資質の高い職員

庁内

優秀な人材が多く専門的知識を持っている

職員の元気がある

少数精鋭でこの能力は高い

問題意識を持っている

パソコン業務に強い人間がいる

人口の割に職員数が少なく行政している

市役所の内部業務の安定性

市内に住む職員が多い

トップリーダーの指針を職員が熟知している

職員にやる気がある

職員の能力が高い

課題に対する積極的な取り組み

職員の意識が高い

市民から信頼感がある

魅力ある都市環境

公共施設の充実

庁内

多くの公共施設を持っており再活用できる資産が多い

施設が多い

市域全体に公共施設があり便利である

学校数もあり、余裕教室の活用も可能

都市基盤の整備

庁内

再開発が盛んで活気がある

水道事業の公共性（安全な水）

水道事業の一社安定（単独業者）

生活環境の向上

河川浄化の保全

企画整理が進んでいることが強み

道路整備が進んでいることが強み

地区計画や街づくりが活発である

都市整備における指導力がある

緑地が多い

市内

災害対策の充実

庁内

防災に強い町づくりがされている

災害時の水供給の役割

治安対策に組織をあげて対応している

水害の防除

立地条件が良い

市内

首都圏への利便性が良い

交通の便が良い

所在が都心に近い

地価が安い

市内産業が発達している

市内

産業が発達している

様々な伝統産業がある

技術技能者が多い

市内業者の職の斡旋

旧態依然の組織風土

庁内

業務改善の遅れ

- 一つのことを最初から最後までという流れがない(業務に)
- 業務の安定に対し安堵し前向きでない
- 行革による人員減に伴う事務の手抜き
- 市民に対して業務がわかりづらい
- 少数精鋭が逆にきめ細かい行政にいき届かない
- 前例踏襲で組織や業務を行っていることが弱み
- 水の役割の変化(飲み水から活水)
- 一方的な災害供給の必要性
- 情報公開に対する取り組みが保守的であることが弱み
- 適正組織の斡旋をしていない

縦割り行政の弊害

- 担当する知識は豊富だがそれ以外は乏しい
- 閉じた職場環境になりがち
- 縦割り行政がひどすぎる部署がある
- 財務に関する知識を持つ人が各部署に配置されていない
- 担当毎に分かれているので担当がいないと分からない

職員の高齢化の進展

- 2007年問題
- 専門職の職員が少ない
- 若い職員が少ない
- 人材活用が図りにくい
- いい人材と悪い人材の差がありすぎる
- リーダーが強い為にイエスマンが増えている
- 団塊の世代の管理職が多く、若い世代の育成急務
- 職員減に伴う意欲の減退
- パソコン業務に弱い人間がいる
- 世代間の意識意欲の乖離
- 個人情報の保護が職員の意識の上に成り立っていることが弱み

多様化する住民意識

市内

- 地域の要望がいつでもでてる
- ふるさと意識の欠如
- 近隣の人間関係が希薄になっている
- 地域エゴや個人要望がある
- 町会長、議員の地元誘導が多い

施設の老朽化

庁内

- 耐震化を進めるには施設数が多すぎる
- 多くの公共施設の維持管理費用が莫大である
- 各施設が多く、管理コストが高い
- 市役所の建物が古い(危ない)
- 古い建物等を使い回そうとする(コスト高)
- 公有地の買い取り残が多い

財源不足

庁内

- この数年財政が厳しくなる
- 無駄な経費が支出されている
- 事業が進めばそれに係る経費が増となる
- 莫大な投資が必要
- 財源の確保の困難さ
- IT基盤整備に対する投資

都市イメージの悪化

庁内

- 「錆物の川口」というイメージが定着しているが、マイナスイメージでもある
- 空き店舗化の進展
- 観光資源が少ない
- 区画整理の遅れ
- 宿泊施設が少ない
- 文化施設や祭りにおいて市外からあまり人を呼べない
- マンション乱立など都市景観が良くない
- 総花的な町
- マンションが多い
- 犯罪が多い

好転するマクロ環境

庁外

上向く景気

景気が回復し税収が上がっている

景気・不景気による開発事業増減

地価上昇

地価が上がっている

人口の増加

若い世代が多く力強い

人口集積あり。多様な人々がおり魅力的である

人口増により街に活気が出ている

人口増、活力を生む

人口増により税収が増加している

人口増により民間による都市整備が進んでいる

行財政改革の進展

庁外

制度変更の進展

全国的な行財政改革の流れ(人件費・歳出)の抑制。川口も遅れさせながら

EA事業により事務・システムの見直し

国家公務員においても職員の純減目標が出されたこと

今日行っている事業にも多く参入してくる

定数管理において、情報化が進むことにより事務の効率化が図られること

進む民営化

法改正による民間参入行政が生まれる

民営化による行政業務の民間参入

魅力ある都市基盤

豊かな自然環境

市内

緑が多い

河川が多い

憩い場としての活用

都市に近くて緑もあり集積もある

オートルース場がある

都市基盤整備の進展

市内

都市基盤整備も進んでいる

都心に近い利便性を生かす

地域差の拡大

整備が進めば土地の値が上がる

地価埋設の為住民の理解が得られない。

企業進出の容易さ

市内

イベント産業が避ける

技術力の継承が容易

ベンチャー企業の進出しやすい環境

独占的な企業

企業としての安定性

買い手市場になる

名物が少ない

業務拡大への十分な対応力

市内

職員の増加

採用が増える

若い職員が採用できる

意欲ある職員の増加

業務範囲の拡大

電子入札(工事から物品へ)システム拡充

組織横断的な仕事の増加によるチームワークの重要性の高まり

業務が多岐に渡っている

熱心なボランティア活動

市内

ボランティアに関心のある人間が増えている

地域コミュニティの高まり

財政の悪化

庁内

財政状況の悪化

財政の厳しさに対する取組み

不足する市民サービス

人材不足

庁内

- 優秀な人材確保の難しさ
- 職員のコスト意識の低さ
- 職員減に伴う市民サービスの低下

行政ニーズへの対応不足

庁内

- 公務員の反対や既得権
- 危機管理の部署がない
- 情報提供不足
- 地域を見据えたパランスのよい財源確保の難しさ

悪化する経済動向

庁外

- 金利があがらず運用益が減少
- 原油高、経済回復の腰を折る

都市環境の悪化

弱体化する地元産業

市内

- 風俗産業の進出
- 風俗店が多い
- 技術力の海外流出
- 高級店が少ない
- 市内産業の弱さ
- インチキ業者が出回る
- 後継者不足

悪化する住環境

市内

- 山がない
- 海がない
- 東京と新都心のはざま
- 東京とさいたま市の間で埋没しそう
- 交通渋滞の発生
- 急行が止まらない
- 人口増により治安に不安が出ている
- 犯罪の増加

制度変更及び技術の進展

庁外

- 制度改革の影響
- 給与等の影響から意識の低下
- 定数削減において人口が増えることにより新たな業務が加わることが脅威
- 縦割り行政による上からの制約
- 条例・法の解釈の違いがある
- 鳩ヶ谷市との合併
- 他者の参入
- IT化によるセキュリティに確保の難しさ
- 地方分権の低下

多様化する住民

人口増

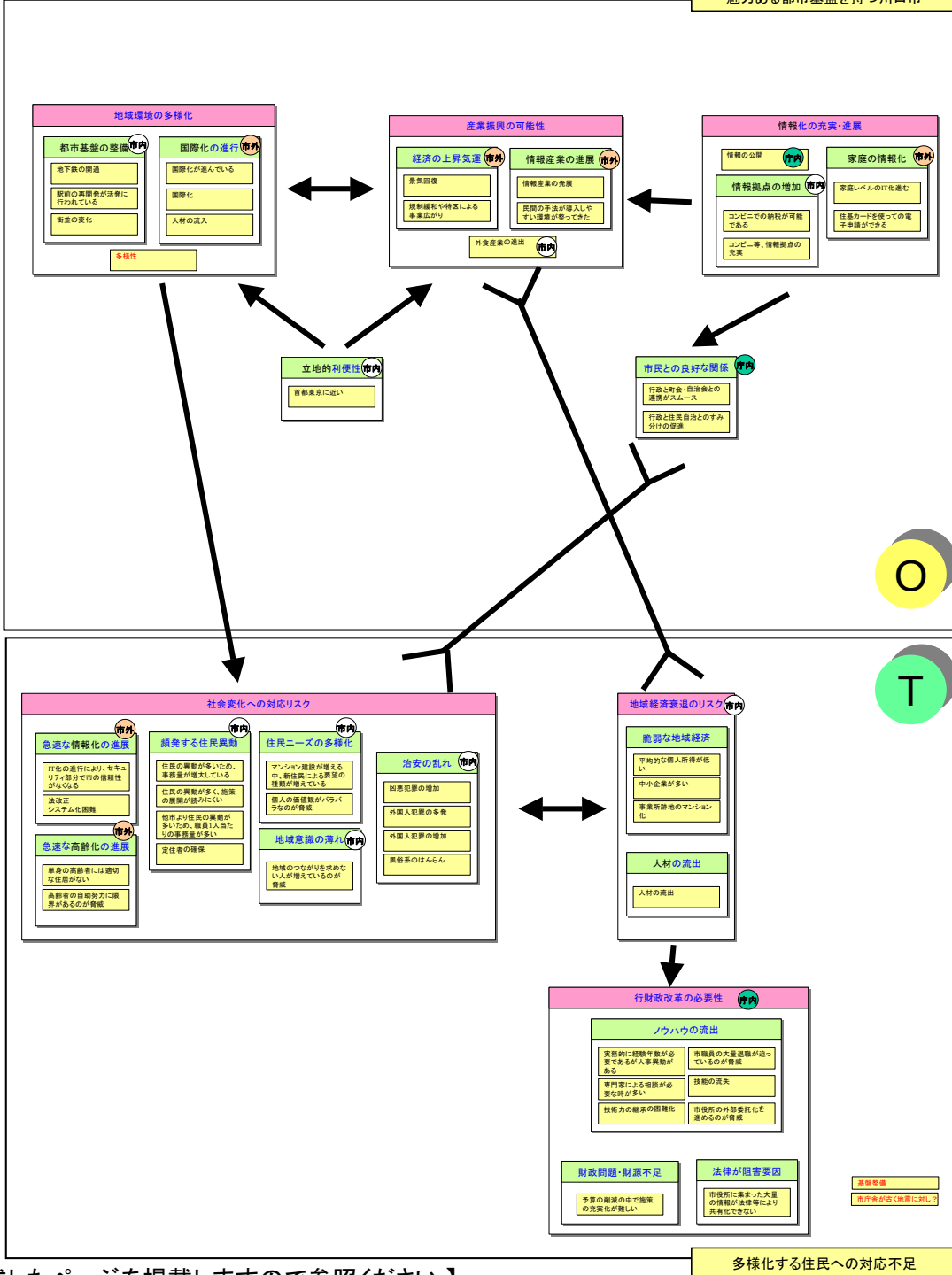
庁外

- 人口が増えると社会資本整備が必要になる
- 人口増により行政経費が増加している
- 人口増によりマンションの乱立が出ている
- マンション乱立後のスラム化
- 高齢者、障害者の増加
- マンション等の急減な人口増に対応した教室の確保

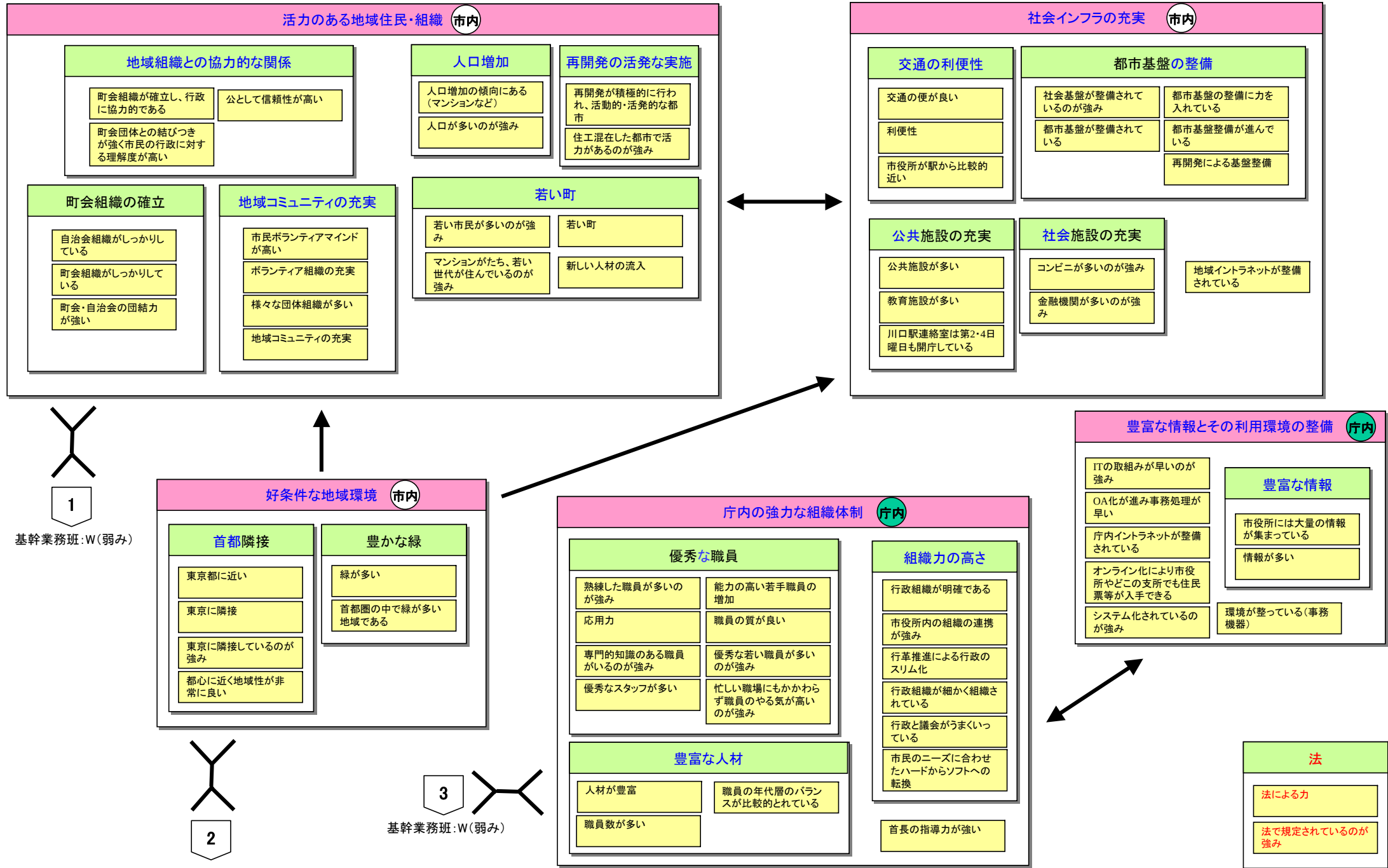
市民ニーズの多様化

庁外

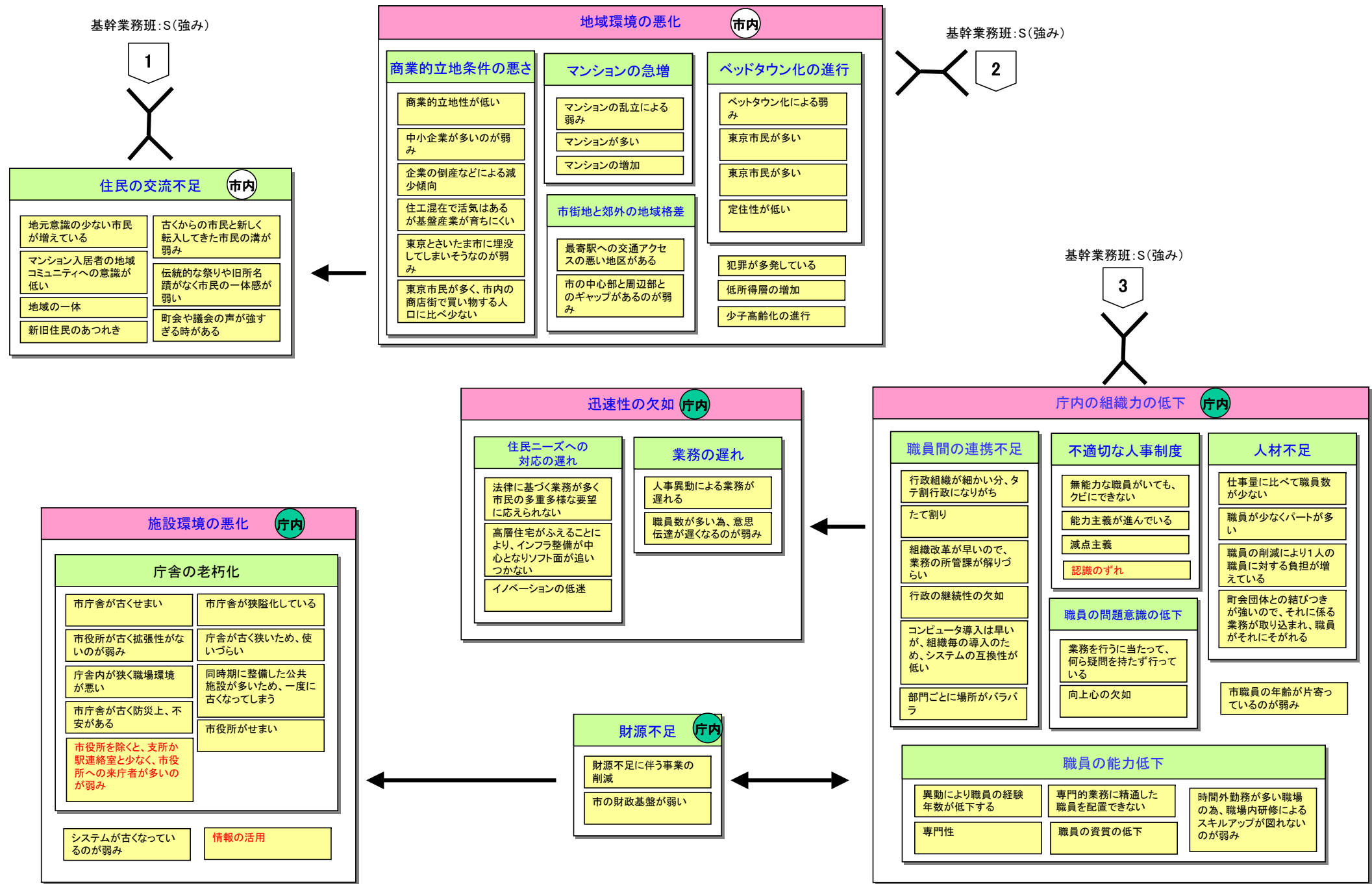
- 価値観が多様化し、自己主張する人間が増えた
- 多様な市民のニーズの集約
- 町会活動に無関心な人間が増えている
- 市民からの目





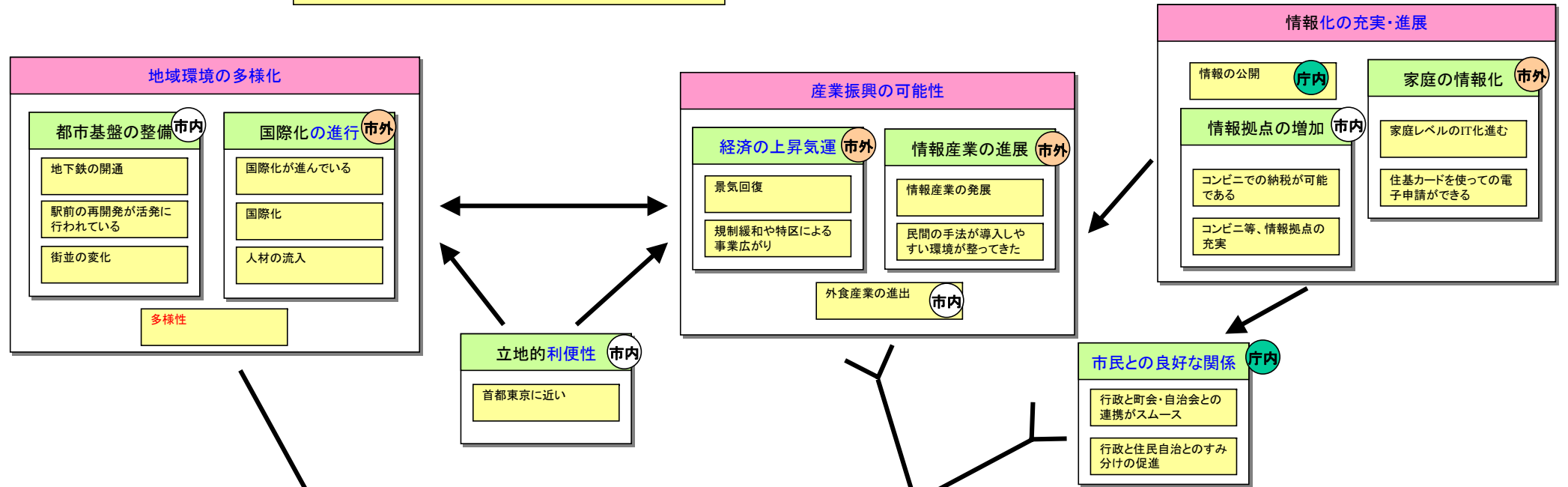






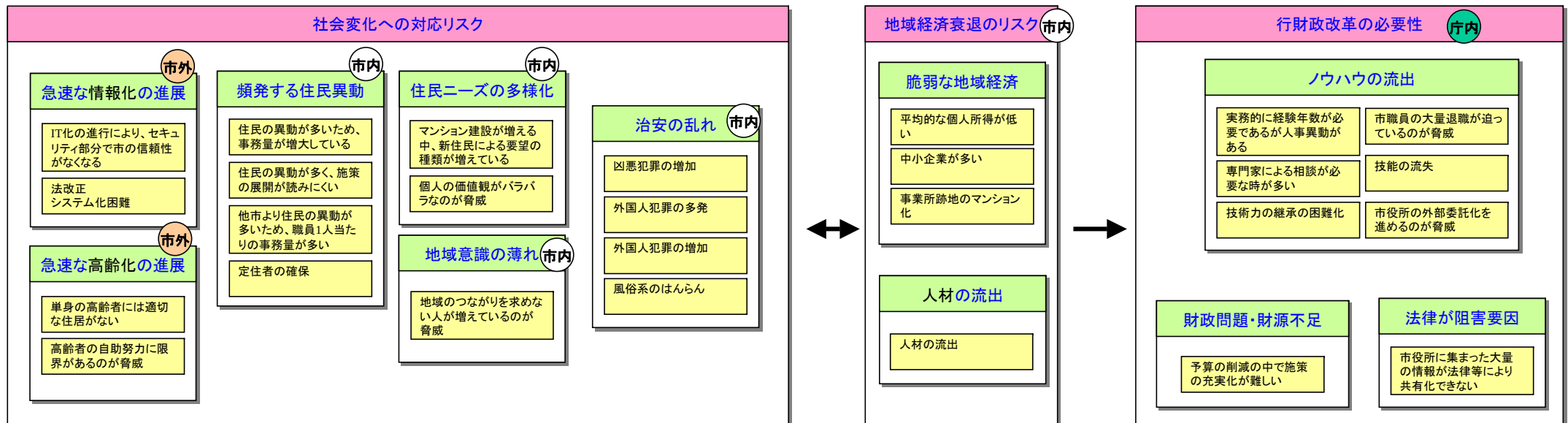
# 基幹業務班: O (機会)

魅力ある都市基盤を持つ川口市



# 基幹業務班: T (脅威)

多様化する住民への対応不足

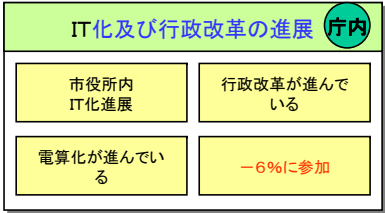
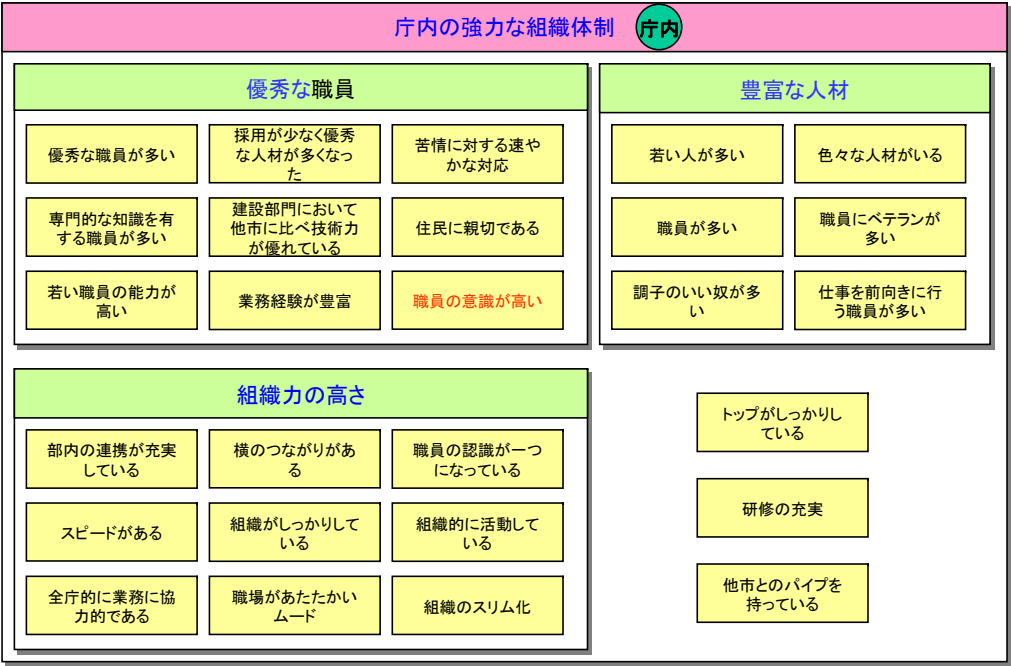
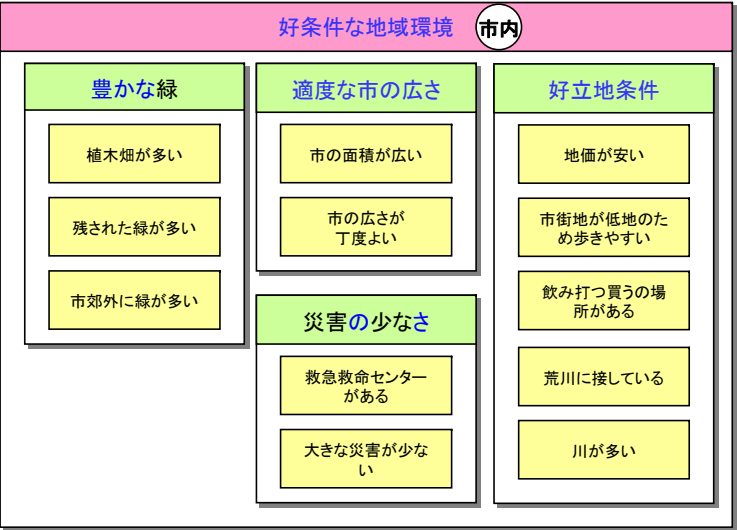
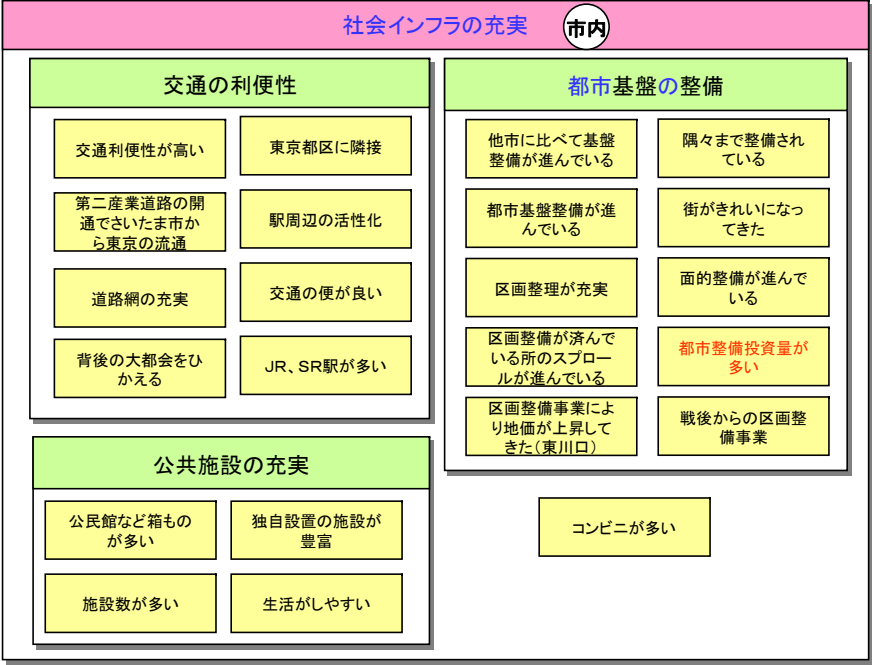
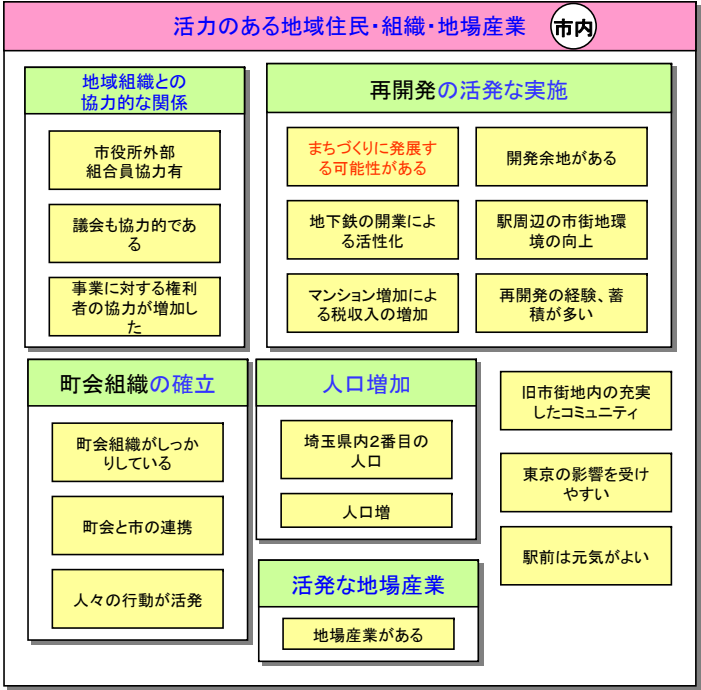


基盤整備  
市庁舎が古く地震に對し?



環境関連業務班:S(強み)

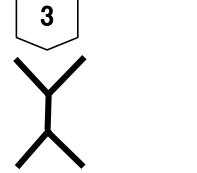
魅力ある都市基盤と市内の強力な組織体制



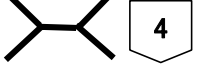
環境関連業務班:W(弱み)



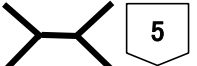
環境関連業務班:W(弱み)



環境関連業務班:W(弱み)



環境関連業務班:W(弱み)



政治が面白い  
(川口自民党)

予算がない強み

# 環境関連業務班:W(弱み)

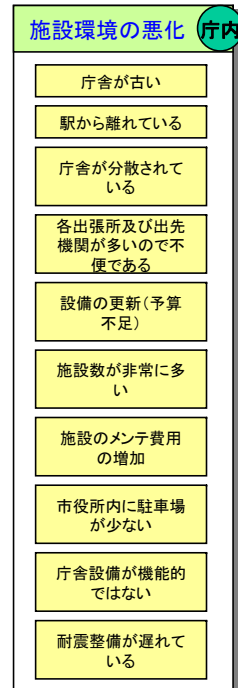
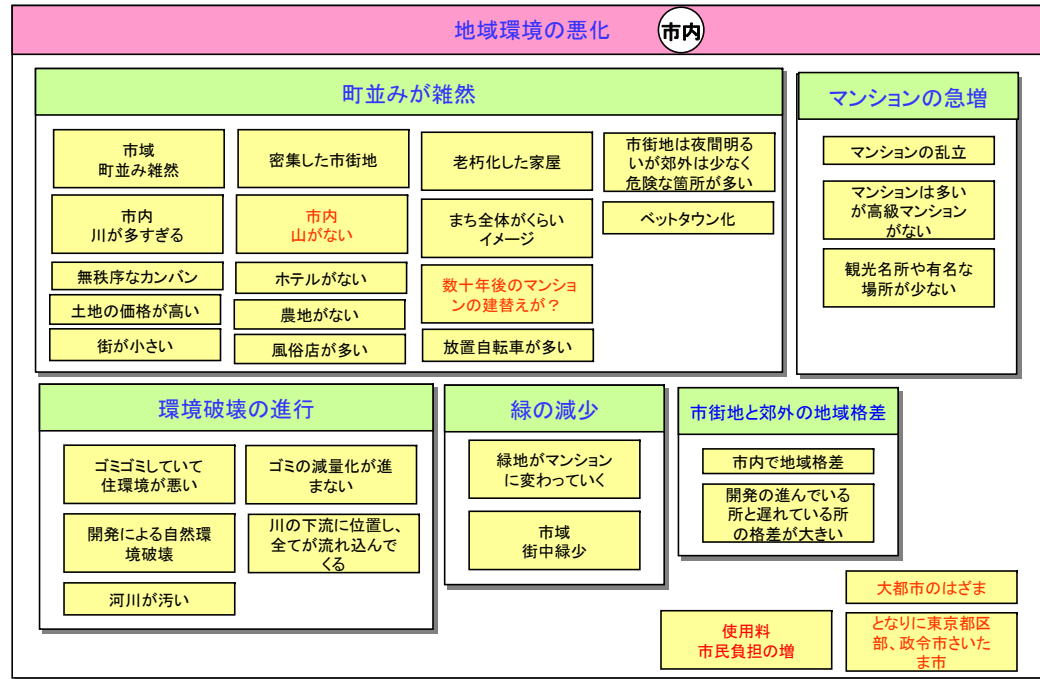
住民・地場産業の活力低下と庁内組織力の低下

環境関連業務班:S(強み)

3

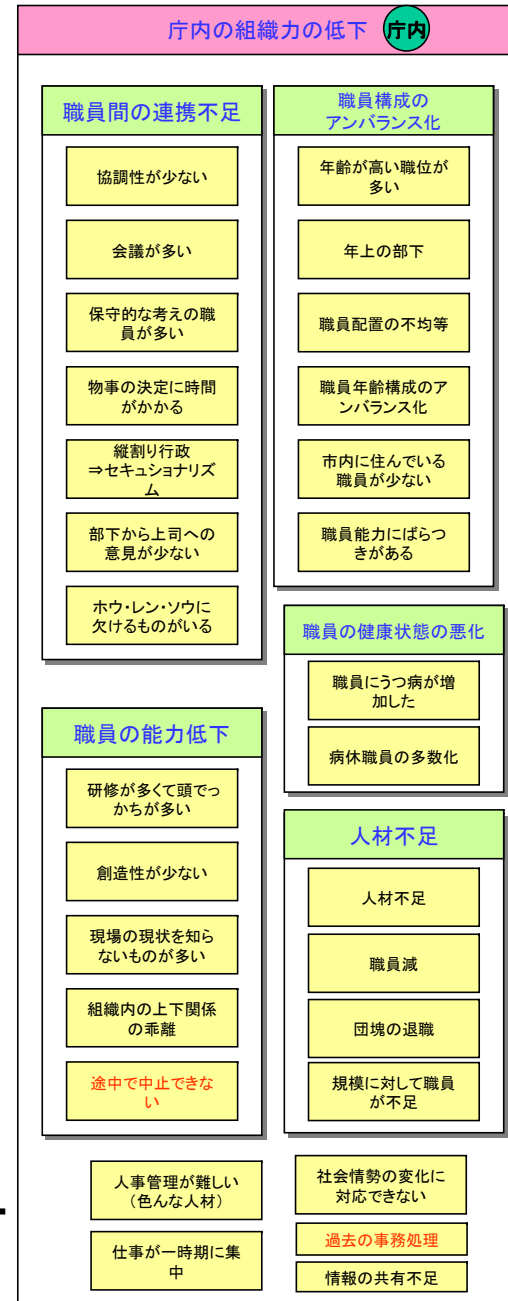
環境関連業務班:S(強み)

2



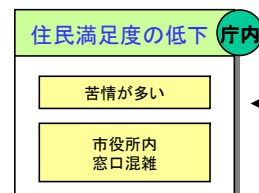
環境関連業務班:S(強み)

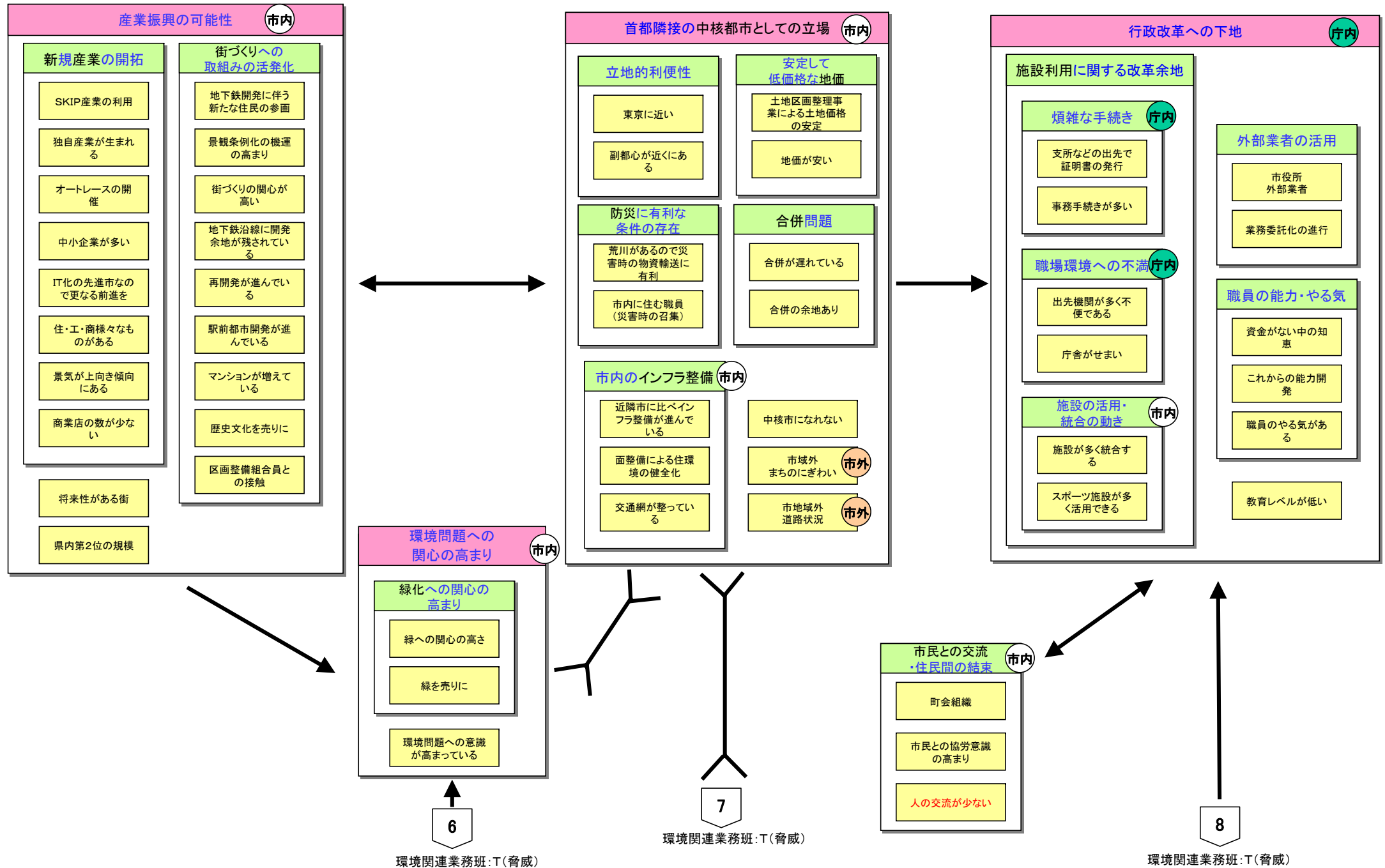
5



環境関連業務班:S(強み)

4







# 環境関連業務班:T(脅威)

環境関連業務班:O(機会)

環境関連業務班:O(機会)

社会変化・地域経済衰退への対応

6

7

8

## 地域環境の悪化

市内

### 災害に弱い環境

水害がある

高地が少なく低地が多いため水害が発生しやすい

木造家屋の地震対策

都市化による被害拡大

### 治安の悪化

予想できない事件が多発

犯罪が多くなった

外国関連住民増加による治安悪化

風俗店が多い

### 緑の減少

住民の緑に対する意識が弱い

乱立開発による緑の減少

### 環境問題

ゴミの増加  
最終処分場の限界

住工混在による環境問題

地球温暖化 市外

アスベスト問題 市外

## 行財政改革の必要性

市内

### 財政問題・財源不足

財政難に伴う事業の遅延

公営競技の不信(オートレース等)

予算不足

国民年金のはたん 市外

莫大な予算がかかる

### ノウハウの流出

専門的知識を有する職員の大量退職

行政区域に捕らわれない広域行政

事業の途中で見直しがありえる

## 社会変化への対応リスク

市内

### 住民間の結束力の低下

町会長の権力が強い

団体が多すぎる

隣近所づきあい

事業終了後の住民のモラル

市民の行政への依存度が高い

住民意識

住民のまとまりがなくなっている

若い人の気心がわからない

### 住民の高齢化

高齢化

1人世帯老人の増加

### 人口の増加

人口増  
=ごみ量の増

継続的な人口増

人口流入が早すぎる

## マンション問題

### マンションの乱立

マンションの乱立

マンション建設のラッシュ

### マンションのスラム化

ワンルームマンションやウィークリーマンションが多い

マンションのスラム化

50年後のマンションの形骸化

マンションの老朽化

自治意識の希薄化

## 政令市合併による近隣市・首都圏等との競合、地域経済衰退のリスク

### 近隣都市の活性化 市外

さいたま市と東京都のはざま

近隣の首長は自分の市だけを考えている

これまでの工業都市

他市の活性化

他市の動向

周囲の町の人口が大きい

### 合併問題 市内

鳩ヶ谷市のやる気なさ

合併の必要性

外部市民との接触がない 市外

### 地域経済衰退のリスク 市内

産業が落下状況

開発に伴う伝統の消失

これといった観光がない

市民の所得が周辺より少ない

## 社会インフラに関する弱み 市内

### 交通関係問題の増加

#### 交通量・事故の増加

市内交通量が多い

通過交通が多い

交通事故が多い

自動車の交通量が多い

東西交通網が多い

#### 交通の利便性の格差

駅周辺と郊外のギャップ

郊外地の交通の便があまりよいとはいえない

### 基盤・施設整備の遅れ

基盤整備の遅れ

地形が悪い

施設整備の遅れ

市役所外他地域の地価

進まない無電柱化

ホテルがない

小開発が多すぎる都市整備支障

施設数の多さ

地下鉄開業に伴うスプロール化

石油の価格 市外

インターネット普及の限界 市外





# その他業務班:S(強み)

## 魅力ある都市基盤と庁内の強力な組織体制

### 活力のある地域住民・組織 市内

#### 町会組織の確立

- 強力な自治組織
- 町会組織がしっかりしている
- 町会組織の充実
- 町会等地域連携が強い
- 町会の組織

#### 地域コミュニティの充実

- 地域とのつながりが深い
- 地域活動、ボランティア活動の積極的な参加
- 市民参加(市民が参加できる事業が多い)
- 地縁的コミュニティが強い

#### 人口増加

- 人口が多い
- 新住民が多い
- 新旧住民の居住
- 人口が増加している
- 人口が増えつづけている

#### 活発な地場産業

- 経済力がある
- 地場産業
- これから発展する可能性がある
- 業種の連携
- 仕事を発注する
- 業種の連携
- 業種の集積
- 地域の特性にあった事業展開が考えられる

人口に占める世代のバランスがとれている

知識経験等を持つ色々な人が住んでいる

### 社会インフラの充実 市内

#### 交通の利便性

- 交通利便性が高い
- 主要道路が市内に走っている
- 交通の便がよい
- 交通便利
- 交通が便利
- 交通の便がよい
- 交通網の発達(鉄道)

#### 公共施設の充実

- 各地域に公共施設が整備されている
- 都市整備が進んでいる
- 施設が整っている
- 市域全般に公共施設がバランスよく配置されている
- ライフラインが整備されている
- 施設の充実
- 施設が充実している天文・プラネ・展示など
- 先進的
- 充分な公共施設あり
- 多様な施設がある
- 社会教育、社会体育施設が充実
- 県内に類似施設がない
- コンビニエンスストアが多い
- 施設が充実している

### 好条件な地域環境

#### 首都隣接 市内

- 都心に隣接している
- 都心に近い
- 都心に近い町
- 大都市隣接
- 首都圏に位置している
- 首都に近接
- 首都に近い

#### 豊かな緑 市内

- 広大な緑
- 美しい景観
- 一部緑が多い地域有り
- 緑地が多い
- 安行のブランド
- 都心が近く緑が多い
- 東京に接してはいるが緑が比較的多い

#### 豊かな資源

- 資源が豊富
- 資源の集積
- 歴史と伝統

### 庁内の強力な組織体制 庁内

#### 優秀な職員

- 事務改善能力
- スタッフの専門性が高い
- 職員の能力
- 職員の能力が高い
- 職員の質が高い
- 優秀な職員の入庁
- 各部署に専門家に近い能力を持つスタッフがいます
- 個々では経験豊富な職員がいる
- 個々の能力が勝れている
- 職員の能力が高いのが強み
- 個々の能力が勝れている

#### 職員の意欲の高さ

- 職員の問題意識が高い
- 新しい事務にとびつきやすい
- 職員が研究熱心
- コミュニケーションが良い
- 道徳観・倫理観がある職員が多い
- 創造性
- 新規性の高い施策や事業に取り組む意欲がある
- 市民感覚を大切にしようとする努力している
- 職員のやる気
- 行革推進に積極的である
- 職人気質
- サービス精神が旺盛
- 問題意識あり
- 新しい事柄や情報に敏感
- 情報に敏感である

#### 組織力の高さ

- 組織がしっかりしているきめ細かく行政を行っている
- 組織がしっかりしている
- 適度な緊張感が絶えず組織内にある
- 職員研修が多くあり新しい考え方が取り入れられる
- 消防、体制等の充実
- 職員の組織力がある
- 部局数が多いため機効力が高い
- 職員の協力体制
- 組織力がある(協力体制)
- 団塊世代の退職による世代交代
- 組織力がある
- 意思統一が早い
- 組織が機能している
- 担当部署が細分化されている
- 専門化した組織機構

#### 強いリーダーシップ

- リーダーシップのある首長
- トップの考え、方針が組織の部下まで伝わっている
- リーダーシップ
- 市長がやる気ある
- 権限をもっている

#### 豊富な人材

- 職員数が多い
- 人材の登用が進んでいる
- 有能な人材が豊富である

#### 市民との良好な関係

- 行政と市民がある程度連携ができています
- 行政の主旨がある程度伝わっている
- 行政と町会のつながりが強い
- 団体の行政への理解

#### 知識の共有化

- 業界とのパイプが強い
- 国との連携
- 将来計画
- 基準となるものがしっかりしている
- 積極性

#### 積極性

- 行政区域の範囲が丁度良い
- 業務のマニュアル化が進んでいる
- 担当業務がPRされているように思える

その他業務班:W(弱み)

4

その他業務班:W(弱み)

3

### IT化の進展 庁内

- IT化が進んでいる
- IT自治体である
- IT化の進行
- 情報が得やすい

### 庁内施策の充実 庁内

- 先取り行政
- 独自の制度
- 先んじて行政を進めることが強み
- バブリシティの積極的な活用
- 障害者への配慮がよくなっている
- 市民参加による市制
- 患者(市民)のニーズにかなり深い部分まで対応可能
- 植木産業等のバックアップ体制
- コンビニ収納開始
- 中小企業の振興策の充実

# その他業務班:W(弱み)

住民・地場産業の活力低下と庁内組織力の低下

その他業務班:S(強み)

3

その他業務班:S(強み)

4

インフラの未整備 市内

災害に弱い街並み

交通の便の悪さ

都市化による災害対応が難しい状況にある

交通の便が悪い

災害に弱い街並(都市部は)

交通不便地の存在

密集しすぎて災害時の避難が難しいのが弱み

東京とさいたま市の通過点

耐震化が図られていない

自転車が多い

防災対策

シティホテルが無い

水害に弱い

建物がない

都市型水害が発生しやすい

財源不足 庁内

財政難

財政困難

予算が無い

予算の減額によるやりくり

財政状況

財源が厳しい

財政状況が良くない

財政が厳しく事業が進まない

事業(公共)の財源が厳しい

費用対効果の判定が難しい

収入の減少

三位一体改革による補助金の削減

公営ギャンブルの衰退

不況による協賛金の減少

売上の不振

施設環境の悪化 庁内

庁舎の老朽化・狭さ

市内施設環境が不十分

公共施設全体が老朽化特に本庁

文化的施設環境が不十分

庁舎が古い

市の大きさに対し公共の医療機関が少ない

庁舎の古さ

公の施設が多いが利用者が限定されている

庁舎の老朽化スペースの狭さ

市内施設の老朽化

庁舎が狭い

市内各施設の老朽化

タコ足の庁舎

施設の老朽化

駐輪場の土地がない

施設の更新ができていない

福祉施設の充実

委託料がかかりすぎる



庁内の組織力の低下 庁内

職員配置の不均衡

職員間の連携不足

職員の能力低下

仕事量の偏りがある

部課のセクト意識が強い

事務処理能力又はやる気のある人間にばらつき

職員の配置が悪い

仕事の押し付け合い

職員の意識改革

勤務時間が長い時間となる

横の組織の連携

古い考えからの脱却ができない弱み

担当職員数が少ない

タテ割り意識がまだ強い

創造性が乏しい

人員が少ないのが弱み

新規行政課題に対して、所管が一義的に決められないものについての所管決定

目の前の事に追われ、将来的なビジョンや哲学に乏しい

人員削減等職場環境の変化

業務のタイ回し

協調性の減少

取訴の経験を十分に生かせない前例主義

リーダーのいる職場が少ないように思える

忙しいため考える時間が少ない

組織内の異動が多く専門家が育たない

組織力が弱い

クレーマーに対する対応が弱腰である

上意下達

変化に対応しづらい

目標の設定(遅い)

市民に対し担当課が指導できていないように思える

必ずしも能力の高い者が引き上げられない

新しい分野にとびつきやすいので、ついていけないのが弱み

電子化による市民の心が読めない

市の職員市民の利用が低い

職員の高齢化

行政が市民へ頼りすぎるとコストが高つくていると思える

職員の高年齢

業務を前倒主義で処理することがある

団塊の世代が多い

他部局の仕事内容を知らない部分がある

年齢が高い

委託業務を解説する職員の認識が低い

職員の高齢化年齢構成のバランスが崩れている

IT関連の業務処理

その他業務班:S(強み)

2

その他業務班:S(強み)

5

住民・地場産業の活力の低下 市内

地場産業の衰退

住民の交流不足

中小企業が産業の中心

行政に対する要求が過大

テーマコミュニティへの理解不足

中小企業が多く不景気と好景気の税収の差が大きい

大企業が市に入っていない

中小企業の不振

景気に左右され易い産業が本市の主要産業

個人企業が多い

零細企業が多い

増大する一方の行政需要

テーマ性の市民のつながりに理解がない

行政に対する課題な要求

テーマコミュニティの地域の理解が足りない

市民・住民のエゴ

住民構成

住民のエゴ

核家族化が進行

住民の行政バッシング

住民の高齢化

地域組織に対して委譲が多い

新旧住民の交流不足

古住民・新住民の間

新住民と旧住民との融合難

新住民が多い

新住民(マンション)の増加、コミュニケーション不足

共有化難しい

古い住民と新住民の交流が取れない弱み

地場産業の衰退

頭脳の流出

産業の街がなくなる

知的財産的風土に乏しい

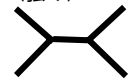
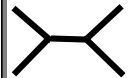
地場産業の衰退

農地が減少している

経済の活性化が難しい(財源の確保が難しい)

観光地が少ない

技術力の低下



基盤整備と増収

基盤整備 市内

- 土地整備が多少進む傾向
- 都市基盤が整備されている
- 再開発による効果
- 再開発による経済活性化
- 駅前再開発の完了
- 駅前の整備により色々便利
- 新住民の利用増
- 経済に影響しやすい
- 経済団体との更なる連携

環境と緑 市内

- 都市内の緑
- 市民農園の扱い
- 市街化区域内の農地活用について
- 資源利用の拡大

公共交通の発達 市内

- 交通網の発展により町がよくなる
- 交通の便が良い
- 道路の利便性が良い

景気 市外

- 景気が回復している
- 景気が回復傾向にある
- 景気の回復
- 物価安定

地価上昇による増収 市内

- 地価が上がる増収となる
- 都心に近く、地価が上がる
- マンション等の建設に伴う増収増

首都隣接の中核都市としての立場 市内

首都隣接による情報収集

- 首都圏の情報が多く入ってくる
- 首都圏の情報が多く入る
- 東京と隣接、情報等入りやすい
- 首都圏に近い

近隣市との連携

- さいたま市や東京から学べる
- さいたま市との連携が図れる
- 他市との情報交換の場が多少ある
- 他市の取り組み、施策を参考
- 都市に近いという立地条件の中での政策が展開できる

他組織との連携

- 学校との連携がとりやすい
- 科学館、博物館との連携がある
- 県内の大学との連携がある
- 国立天文台と情報の交換がある

再構築

- 教訓を基に改善策を考える
- 鳩ヶ谷市との合併

情報化の充実・進展 市内

情報化の進展

- 機器管理の充実
- 情報化の進展
- 情報化が進んでいる
- IT関連充実
- ホームページにより他市の状況がある程度わかる

- 民間情報メディアの整備 市内
- 情報誌が配布されてくるので全国の流れがわかる
- 国でIT化事業の推進化が図られている 市外

三位一体改革への対応

三位一体改革の推進 市外

- 地方分権
- 行財政改革
- 行政改革 民営化推進の流れ
- 指定管理者制度
- PFIの促進
- 民間能力活用
- 補助金のカット

効率的な市政 市内

- 行政効果がわかりやすい
- 市の改革が進んでいる
- 予算の効率が良い
- 多様なマンパワー
- 業務の多様化
- 職員数が少ないことが機会

産業振興の可能性 市内

産業活性化の可能性

- 産業のPR
- 産業の活性化
- 既存の産業に特化されない産業のチャンス(地場産業の衰退に伴い)
- 伝統的な技術の継承
- 駅前商業振興
- 大型店の進出により市外から人が集まる

映像産業

- 映画祭の開催
- 市民フェスティバル
- SKIPシティ映像産業
- 映像技術などの関連施設が充実している

公共施設の活用可能性

- 歴史のある施設
- 既存の公共施設の有効活用
- 公共施設が多い避難場所が多い
- 公共施設が多いため統一がとれないことが機会
- 隣接市に近い体育施設で市内・市外の判断
- 県内で基幹となる市立病院を持つ

- 自己実現の可能性が多様で多い

- 駅前の経営者が市民でない

- 犯罪が多いことが機会

住民参加と協働

市民との良好な関係 市内

- 行政と市民のパイプが相談員制度などによって強い
- 市民の役所に対する注目
- 市のPR・目的がスムーズにわかってもらえる
- 協力参加型が多い
- 人口の割に市域が狭いため連絡を周知しやすい
- 専門知識の住民が増えている
- 理解が得やすい

強力な自治組織 市内

- 市民つながり、交流が活発であり、情報が多い
- 町会等コミュニティがしっかりしている
- 近隣市民同士の交流
- 高齢者と子供との交流

- サービスの区(差)別化
- 各団体との協調をどのように図るか



社会変化への対応リスク

住民ニーズの多様化 市内

住民の要望が多い

住民ニーズの多様化への対応

住民ニーズに対する優先度

個人利益だけの考え

市民の(住民)コミュニケーション希薄化 市内

青少年の育成の改善

新住民・若い人たちの郷土意識の希薄さ

新住民と旧住民とのコミュニケーション

住民の地域意識の変化

市の行政に関心薄い市民の増加

自分の好きなボランティアへの参加

職員・行政への批判 市内

時間がかかりやすくなる

市行政の執行についての監視が厳しい

自治会が圧力団体となる

各団体からの圧力

行政運営がうまくいかない

市民の役所に対する注目

マンション問題 市内

マンションが増加し新人口が増加

マンション増加

マンション住民の増加に伴う地縁という人と人とのつきあいがなくなる

マンション建設ラッシュ

マンションの林立

マンション建設の増

マンション建設に伴う人口増

人口が増加している

急激な高齢化 市内

社会インフラに関する弱み 市内

交通

交通事情

交通状況

交通アクセスが悪い

施設

隣接市に近い施設は市外者が多い

施設の変化が少ない

老朽化による財力の欠如

市内の公共施設の老朽化に伴う改修費の増加

他市の病院と患者の取り合いになる

県の隅にある

市域の面積が人口の割に狭い

地域環境の悪化

防犯・治安・災害 市内

災害に弱い環境

災害に弱い

海拔が低い水が出やすい

地盤が低い

犯罪の増加

犯罪多発

外国人による犯罪が増えている

犯罪件数の更なる増加

環境問題 市内

環境の悪化

最終処分場がない

JAに対する行政のかかわり方 市内

農政にかかわる施策に対する市民の判断

緑地の減少 市内

緑の減少

都市再開発により緑が少なくなる

緑地の減少

地下鉄周辺(緑地)の住宅化

植木産業の高齢化

植木の需要激減

植木生産地(緑地)の住宅化

行財政改革の必要性

財政問題・財源不足 市内

市の財源確保ができる地場産業の確立ができていない

市民の要望に対し思うように事業の展開ができない

公営ギャンブルの収入が減

補助金に対する団体の考え

税収が上がらない

予算の枠を越えて現場の要求に応えなければならない

財政危機

財力の欠如

財政難

行財政改革

国の施策 市外

補助金等のカット

国の行財政改革が推進されている

国の施策変化が多い

給与削減

職員に関するリスク 市内

ノウハウの流出

団塊の世代の退職による住民サービスの低下

団塊世代退職・人材不足・財政不足

他市に比べ事務員が少ない

その他業務班:O(機会)

6

7

政令市合併による近隣市・首都圏等との競合、地域経済衰退のリスク

地場産業の衰退 市内

景気の変動がもたらす市の産業を脅かす

地場産業の衰退都市化のため

企業が市外へ転出

人材流出 市内

人材流出

都心に近い為、市内の労働力が不足

若い人の就職難

地元商店街の衰退 市内

流通拠点の大型化

大型店が進出個店が厳しい

大型店の進出による地元商店街の衰退

不景気 市外

景気の悪化

景気不安

政令市合併による近隣市・首都圏等との競合 市内

首都圏・大都市間で埋没

競争性

他の自治体との合併問題について

23区との差がある

都市ブランド名で負けそう

近隣としとの合併問題のねじれ、後遺症

さいたま市との差がある

政令都市の谷間

東京とさいたま市(政令指定都市)の狭間

近隣市の合併による、外から見た市のイメージに差がつく

大きな市(政令指定都市)との差(県内での埋没)

中途半端な立場である

政令都市にならないのが脅威

指定管理者制度

教育レベルの格差

市内・市外の区別困難による事故の際の対応

良品質の創造